



IS-10/IS-11/IS-12/IS-20

Intel Pentium 4 システムボード
Socket 478

ユーザーマニュアル

著作権と補償について

このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なく変更される場合があります。本マニュアルの作成には万全を期しておりますが、万一誤りが合った場合はご容赦願います。

本製品の特定用途への適用、品質、または商品価値に関して、明示の有無に関わらず、いかなる保証も行いません。このマニュアルや製品上の表記に誤りがあったために発生した、直接的、間接的、特殊な、また偶発的なダメージについて、いかなる保証も行いません。

このマニュアルに記載されている製品名は識別のみを目的としており、商標および製品名またはブランド名の所有権は各社にあります。

このマニュアルは国際著作権法により保護されています。本書の一部または全部を弊社の文書による許可なく複製または転用することは禁じられています。

マザーボードを正しく設定しなかったことが原因で発生した故障については、弊社では一切の責任を負いかねます。

目 次

第 1 章	はじめに.....	1-1
1-1.	機能と仕様.....	1-1
1-2.	レイアウト.....	1-3
第 2 章	ハードウェアのセットアップ.....	2-1
2-1.	マザーボードのインストール.....	2-1
2-2.	Pentium® 4 CPU およびヒートシンクサポート台の取付け.....	2-2
2-3.	システムメモリの取付け.....	2-4
2-4.	コネクタ、ヘッダ、スイッチ.....	2-6
	(1). ATX 電源コネクタ.....	2-6
	(2). ファン用電源コネクタ.....	2-7
	(3). CMOS メモリクリアリングヘッダ.....	2-8
	(4). AGP ディスプレイカード用スロット (IS-10/IS-11/IS-12).....	2-9
	(5). 前面パネルスイッチおよびインジケータ用接続ヘッ ダ.....	2-10
	(6). フロントパネルオーディオ接続ヘッダ.....	2-11
	(7). 追加 USB ポートヘッダ.....	2-12
	(8). システム管理バス用接続ヘッダ.....	2-13
	(9). 予備 IEEE1394 ポート接続ヘッダ (IS-12).....	2-14
	(10). 内部オーディオコネクタ.....	2-15
	(11). フロッピーディスクドライブコネクタ.....	2-16
	(12). IDE コネクタ.....	2-17
	(13). シリアル ATA コネクタ.....	2-18
	(14). CPU コア電圧セレクタ.....	2-19
	(15). 背面パネルの接続.....	2-20

第 3 章	BIOS について	3-1
3-1.	Standard CMOS Features.....	3-2
3-2.	Advanced BIOS Features	3-6
3-3.	Advanced Chipset Features	3-9
3-4.	Integrated Peripherals.....	3-11
3-5.	Power Management Setup.....	3-18
3-6.	PnP/PCI Configurations	3-20
3-7.	PC Health Status.....	3-22
3-8.	Load Fail-Safe Defaults.....	3-24
3-9.	Load Optimized Defaults	3-24
3-10.	Set Supervisor Password	3-24
3-11.	Set User Password.....	3-24
3-12.	Save & Exit Setup	3-24
3-13.	Exit Without Saving	3-24
第 4 章	ドライバのインストール.....	4-1
4-1.	アイテムの設定	4-2
付録 A.	テクニカルサポートの受け方について	A-1

第 1 章 はじめに

1-1. 機能と仕様

CPU

- 800/533/400MHz システムデータバスを搭載した Intel Pentium 4 Socket 478 プロセッサをサポート
- Intel ハイパースレッドテクノロジー (Hyper-Threading Technology) をサポート

チップセット

- Intel 865G / ICH5 (*IS-10/IS-11/IS-12*)
- Intel 865GV / ICH5 (*IS-20*)

メモリ

- 2 つの 184-ピン DIMM ソケット
- 2 つの DIMM シングル/デュアルチャネル DDR 400/333/266 (最大 2GB)をサポートします。

グラフィックス

- 統合された Intel “Extreme Graphics 2” グラフィックスコントローラ
- 加速式ポートコネクタが AGP 8X/4X インターフェイス(0.8V/1.5V)をサポート(*IS-10/IS-11/IS-12*)

シリアル ATA

- オンボード 2 チャンネルのシリアル ATA 150MB/秒データ転送速度

オーディオ

- オンボードの 6 チャンネル AC 97 CODEC
- プロ仕様のデジタルオーディオインターフェイスの S/PDIF 出力をサポート

システム BIOS

- プラグアンドプレイ (PNP) をサポート
- Advanced Configuration Power Interface (ACPI) をサポート

- デスクトップ管理インターフェイス(DMI)をサポート
- AWARD BIOS による書込み禁止ウイルス防止機能

LAN

- オンボード 10/100M LAN コントローラ (*IS-10/IS-12/IS-20*)
- オンボード 10/100/1000M LAN コントローラ (*IS-11*)

内部 I/O コネクタ

- 1x AGP スロット (*IS-10/IS-11/IS-12*)
- 3x PCI スロット
- 1x フロッピーポートが 2.88MB までサポート
- 2x Ultra ATA 100/66/33 コネクタ
- 2x シリアル ATA 150 コネクタ
- 2x USB 2.0 ヘッダ
- 1x CD-IN、1x AUX-IN ヘッダ
- 2x IEEE 1394 ヘッダ (*IS-12*)

背面パネル I/O

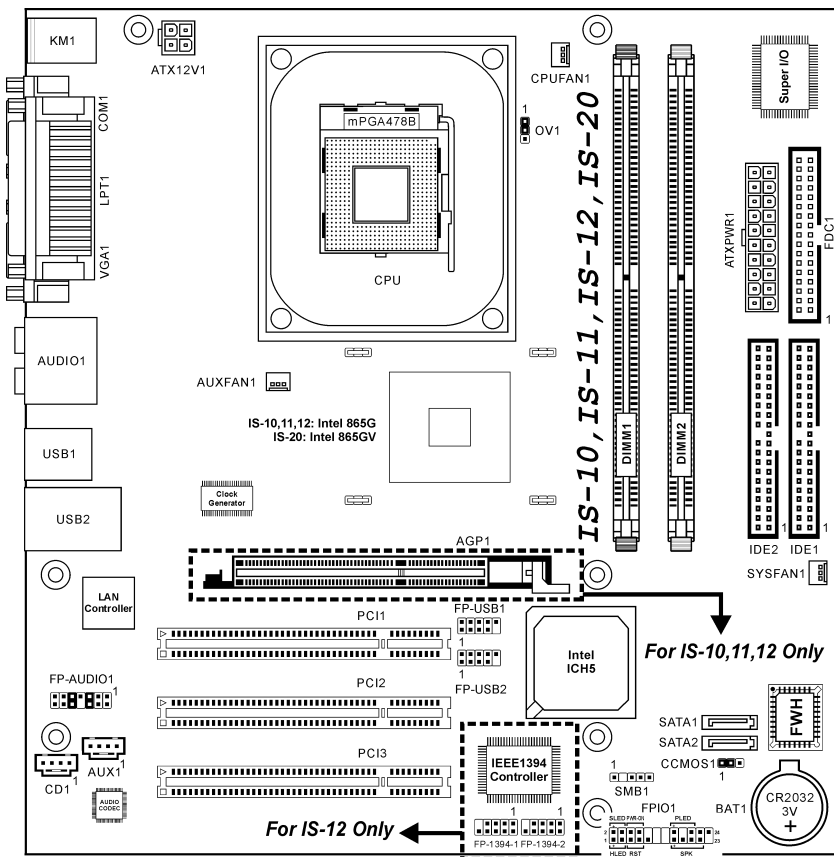
- 1x PS/2 キーボード、1x PS/2 マウス
- 1x シリアルポート, 1x パラレルポート
- 1x VGA ポート
- 1x AUDIO1 コネクタ (リアレフト / リアライト、センター/サブウーファ、Mic-In、ラインイン、フロントレフト/フロントライト)
- 2x USB 2.0 コネクタ
- 2x USB 2.0、1x RJ-45 LAN コネクタ

その他

- ATX フォームファクタ(244mm x 234mm)
- ハードウェア監視 – ファン速度、電圧、CPU とシステム温度

※ 本書に記載されている仕様および情報は予告なしに変更されることがあります。

1-2. レイアウト





第2章 ハードウェアのセットアップ

取付けを開始する前に：ATX12V の電源装置のスイッチをオフにする(+5V スタンバイ電源を完全にオフにする)、または取り付ける前に電源コードを外す、またはコネクタやアドオンカードのプラグを抜く、以上のことを忘れないでください。さもないと、マザーボードコンポーネントまたはアドオンカードが故障したり破損する可能性があります。

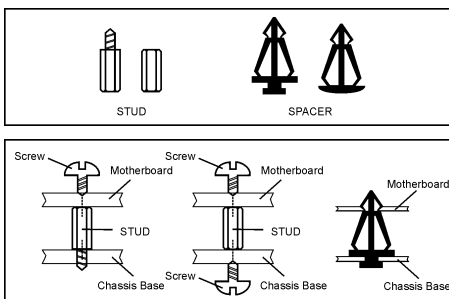
2-1. マザーボードのインストール

ほとんどのコンピュータシャーシには、マザーボードを安全に固定し、同時に回路のショートを防ぐ多数の穴のあいた基板があります。マザーボードをシャーシの基板に固定するには次の2つの方法があります。

1. スタッドを使用する
2. スペーサーを使用する

原則的に、マザーボードを固定する最善の方法はスタッドを使用することです。スタッドを使用できない場合にのみ、スペーサーを使ってボードを固定してください。マザーボードを注して見ると、多くの取り付け穴が空いているのがわかります。これらの穴を基板の取り付け穴の位置に合わせてください。位置をそろえた時にネジ穴ができたなら、スタッドとネジでマザーボードを固定できます。位置をそろえてもスロットしか見えない時は、スペーサーを使ってマザーボードを固定します。スペーサーの先端をもってスロットに挿入してください。スペーサーをすべてのスロットに挿入し終えたら、マザーボードをスロットの位置に合わせて挿入してください。マザーボードを取り付けたら、すべてに問題がないことを確認してからコンピュータのケースをかぶせてください。

注意：PCB サークットのショートを防ぐために、金属製ボルトとスペーサがすでにシャーシ台にしっかり取り付けられ、マザーボード上に一直線に合うような取り付け穴がない場合、それらのボルトとスペーサを取り外してください。



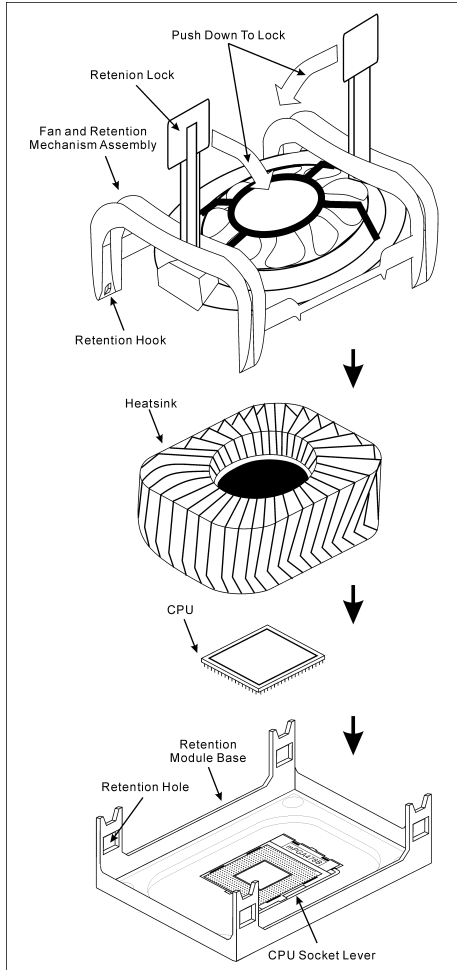
2-2. Pentium® 4 CPU およびヒートシンクサポート台の取付け

このマザーボードは ZIF (ゼロインサクションフォース) Socket 478 を提供して Intel® Pentium® 4 CPU をインストールします。お買い上げになった CPU には、ヒートシンクと冷却ファンのキットが付属しています。付属していない場合、Pentium® 4 Socket 478 向けに特別に設計されたキットをお求めください。

1. マザーボードに 478 ピン ZIF ソケットが見つかったら、リテンションモジュールをマザーボードに固定します。

注意：Pentium® 4 マザーボードの用に特別に設計されたシャーシをご使用の場合、金属製スタッドやスペーサーがすでにシャーシに取り付けられていれば、その場所に注意してください。金属製スタッドやスペーサーが PCB の印刷回路線や部品に接触しないように用心してください。

2. ソケットから CPU のソケットレバーを横に、それから 90 度上に引っ張ります。CPU を正しい方向に差し込みます。CPU は一方向にしかフィットしないため、CPU を差し込む際に余分な力をかけないでください。CPU を押さえながらソケットレバーを閉めます。
3. ヒートシンクを CPU にすっぽりかぶせます。



4. ファンとリテンションメカニズムアセンブリをヒートシンクの上に置きます。ファンとリテンションメカニズムアセンブリの各サイドのリテンションロックが、4 つともリテンションホールにはめ込まれていることを確認してください。
5. ファンとリテンションメカニズムアセンブリの両側にあるリテンションロックを押し下げて、リテンションモジュール台にしっかり固定します。
6. これでファンとリテンションメカニズムアセンブリとリテンションモジュール台の各サイドが、内部のヒートシンクにしっかり固定されました。

注意: 正しいバス周波数と倍数をプロセッサ用に設定するのを忘れないでください。

2-3. システムメモリの取付け

このマザーボードにはメモリ拡張用に2つの184ピンDDR DIMM サイトが搭載されており、128MB から最大2GB まで拡張することができます。

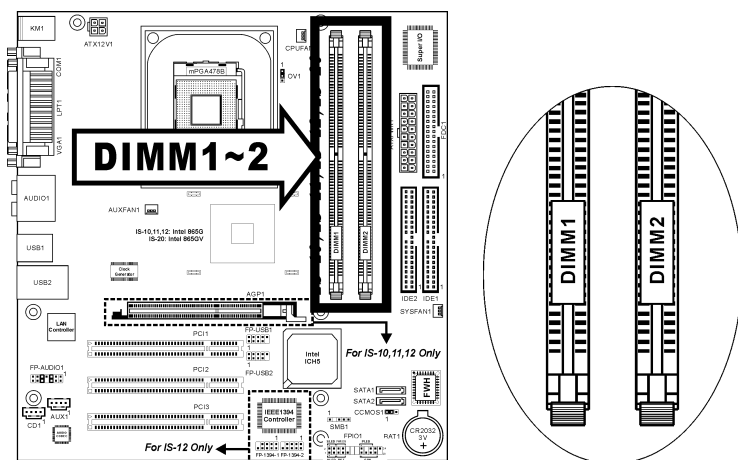


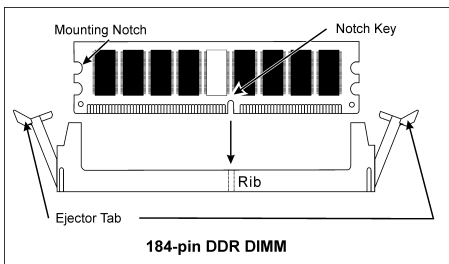
表 2-1. メモリ設定の例

バンク	メモリモジュール	合計
Bank 0, 1 (DIMM1)	128, 256, 512MB, 1GB	128MB ~ 1GB
Bank 2, 3 (DIMM2)	128, 256, 512MB, 1GB	128MB ~ 1GB
システムメモリの合計		128MB ~ 2GB

注：メモリモジュールを追加または取り外した後、ハードウェアやBIOSは必要ありません。

メモリモジュールの取り付け/取り外しを行う前に、コンピュータの電源をオフにして AC 電源コードを抜いてください。

1. ボードの DIMM スロットを探します。
2. DIMM モジュールのコネクタに触らないようにしながら、その両端をそっと持ちます。
3. モジュールのノッチキーをスロットのリブに合わせます。



4. モジュールをスロットにしつかり押し、スロットの両側のイジェクタタブが取り付けノッチにカチッと音を立てて自動的に固定されます。DIMM モジュールを差し込むときに無理な力を入れないでください。DIMM モジュールは一方方向にだけフィットするようになっています。
5. DIMM モジュールを取り外すには、スロットの 2 つのイジェクタタブを同時に外側に押してから、DIMM モジュールを取り出します。

注意: 静電気はコンピュータの電気コンポーネントやオプションのボードを破損する恐れがあります。これらの手順を開始する前に、アースされた金属物質に軽く触れることで、静電気を確実に放電してください。

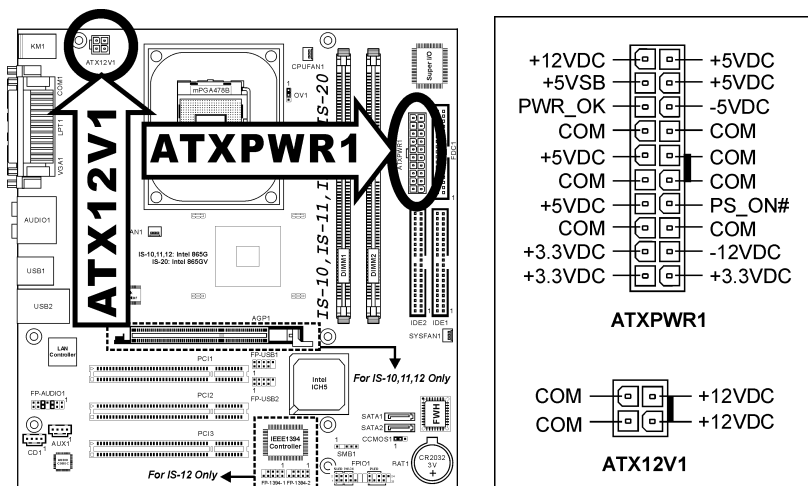
2-4. コネクタ、ヘッダ、スイッチ

ここには、コネクタ、ヘッダ、スイッチと、その接続方法が全て表示されています。コンピュータのシャーシ内に全てのハードウェアを取り付ける前に、全ての項を読んで必要な情報を頭に入れてください。参照のために、ボード上のコネクタとヘッダの全ての位置に対応する完全な拡大配置図を第1章に示します。

警告：周辺機器やコンポーネントを追加したり取り外す前に、必ずコンピュータの電源をオフにしてから、ACアダプタのプラグを抜いてください。さもなければ、マザーボードや周辺機器が重大な損害をこうむることもあります。全てを十分にチェックした後で、AC電源コードのプラグを差し込んでください。

(1). ATX 電源コネクタ

このマザーボードには2つの電源コネクタが搭載されており、少なくとも300W、20A +5VDC または 720mA +5VSB の容量を持つ ATX12V 電源装置に接続します。



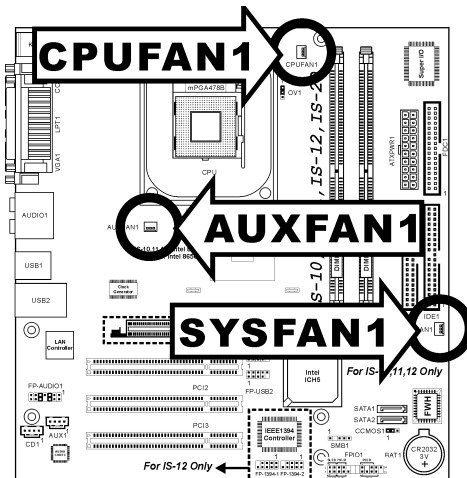
(2). ファン用電源コネクタ

これらの3ピンコネクタはそれぞれ、システムに取り付けられたクーリングファンに電源を供給します。

CPU は、ヒートシンクを装備した強力なファンにより冷却される必要があります。システムは、CPU ファンの速度を監視することができます。

- **CPUFAN1** : CPU ファン用電源コネクタ
- **SYSFAN1** : システムファン用電源コネクタ
- **AUXFAN1** : 補助ファン用電源コネクタ

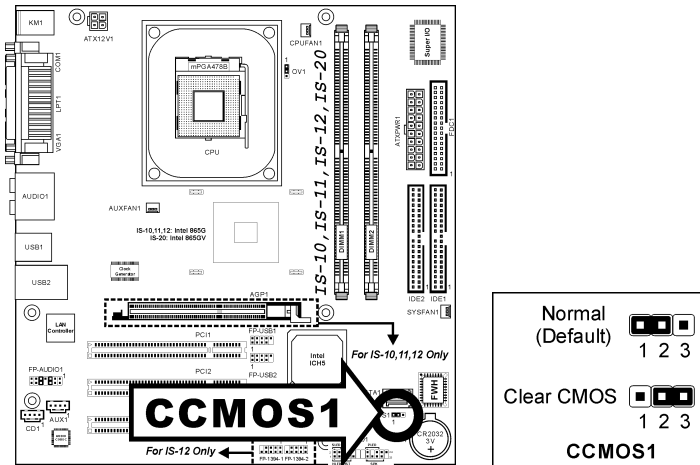
警告 : これらのファンコネクタはジャンパではありません。これらのコネクタにジャンパキャップをかぶせないでください。



(3). CMOS メモリクリアリングヘッダ

この CCMOS1 ヘッダはジャンパキャップを使用して、CMOS メモリを消去します。

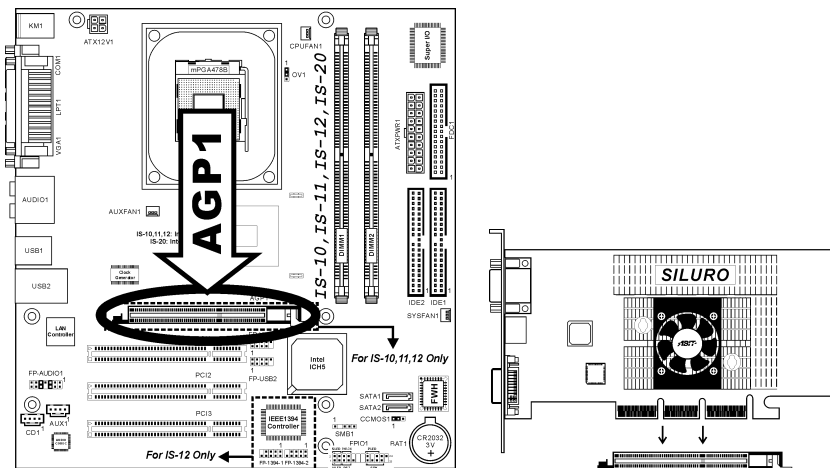
- ピン 1-2 ショート (デフォルト) : 標準操作。
- ピン 2-3 ショート : CMOS メモリの消去。



警告 : CMOS メモリをクリーニングする前に、まず(+5V スタンバイ電源を含め)電源をオフにしてください。さもなければ、システムが異常な動作を引き起こしたり故障する可能性があります。

(4). AGP ディスプレイカード用スロット (IS-10/IS-11/IS-12)

このスロットは、AGP 8X までオプションの AGP グラフィックスカードをサポートします。グラフィックスカードの詳細については、当社の Web サイトを参照してください。

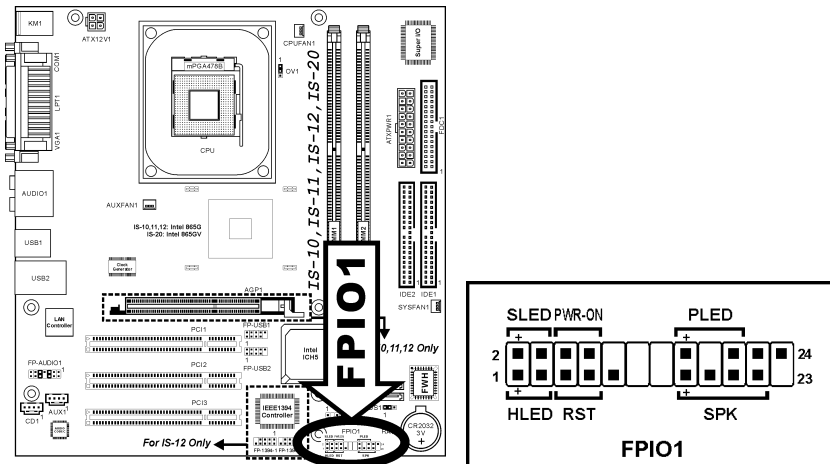


注意：このマザーボードは 3.3V AGP カードをサポートしません。1.5V または 0.8V AGP カードのみをご使用下さい。

(5). 前面パネルスイッチおよびインジケータ用接続ヘッダ

このヘッダは、スイッチと LED インジケータをシャーシ前面パネルに接続するために使用されます。

電源 LED のピン位置と方向に注してください。下図のピンに一直線に並んでいる“+”のマークは、LED 接続のプラス極を表します。これらのヘッダに間違いなく接続してください。方向を逆に接続しても LED が点灯しないだけのことですが、スイッチの間違った接続はシステムの故障の原因となることがあります。

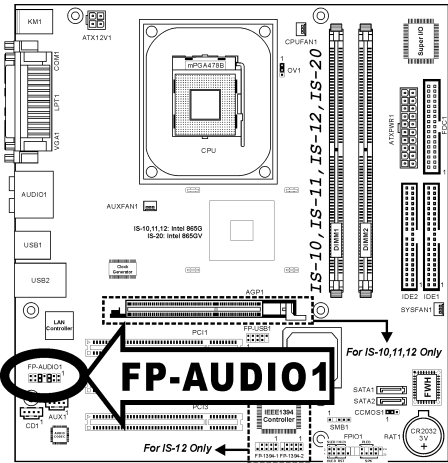


- **HLED (ピン 1、3)** : シャーシ前面パネルの HDD LED ケーブルに接続します。
- **RST (ピン 5、7)** : シャーシ前面パネルのリセットスイッチケーブルに接続します。
- **SPK (ピン 15、17、19、21)** : シャーシのシステムスピーカーケーブルに接続します。
- **SLED (ピン 2、4)** : シャーシ前面パネルのサスペンド LED ケーブル (もしあれば) に接続します。
- **PWR-ON (ピン 6、8)** : シャーシフロントパネルの電源スイッチケーブルに接続します。
- **PLED (ピン 16、18、20)** : シャーシフロントパネルの電源 LED ケーブルに接続します。

(6). フロントパネルオーディオ接続ヘッダ

このヘッダを使用して、フロントパネル設置されているオーディオコネクタに接続できます。

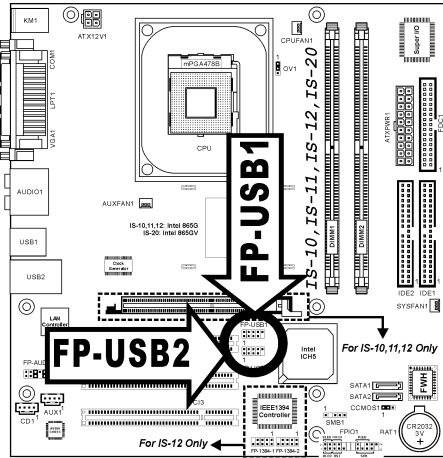
- フロントパネルでオーディオコネクタを使用するには、このヘッダのすべてのジャンプを取り外し、シャーシに付属する延長ケーブルによってフロントパネルに接続します。
- リアパネルでオーディオコネクタを使用するには、延長ケーブルを切り離し、ジャンプをピン 5-6 とピン 9-10 の後ろに取り付けます（デフォルトの設定）。



	ピン 番号	ピン割り当て	ピン 番号	ピン割り当て
	1	オーディオ Mic.	2	アース
	3	オーディオ Mic. バイアス	4	VCC
	5	スピーカーアウト 右チャンネル	6	スピーカーアウト 右チャンネル復帰
	7	X	8	NC
	9	スピーカーアウト 左チャンネル	10	スピーカーアウト 左チャンネル復帰
	11	アース	12	S/PDIF イン
	13	VCC	14	S/PDIF アウト

(7). 追加 USB ポートヘッダ

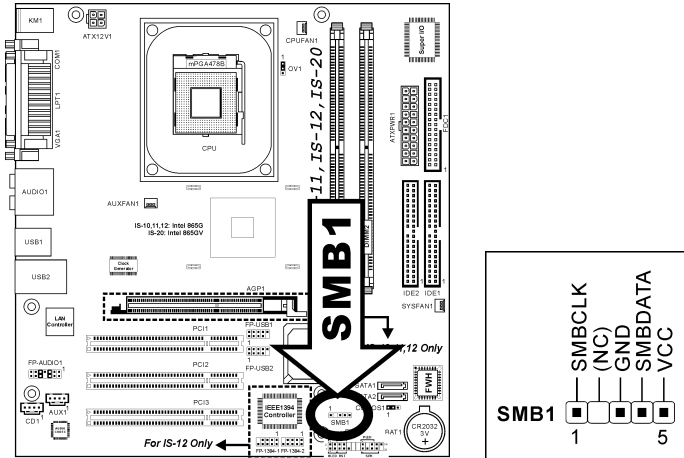
これらのヘッダを使用して、2つの追加 USB ポートに接続できます。



<div><div>2 4 6 8 10</div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div><div>1 3 5 7 9</div><div>FP-USB1</div><div>FP-USB2</div></div>	ピン	割り当て	ピン	割り当て
	1	VCC	2	VCC
	3	Data0 -	4	Data1 -
	5	Data0 +	6	Data1 +
	7	アース	8	アース
	9	NC	10	NC

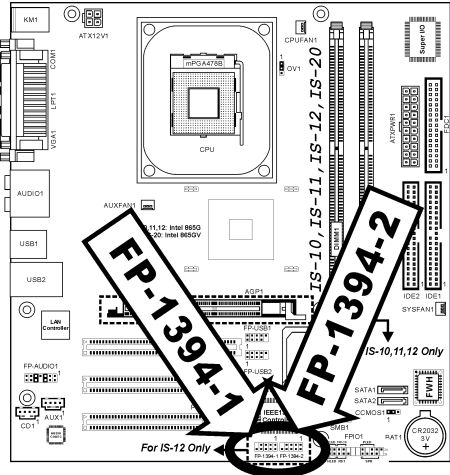
(8). システム管理バス用接続ヘッダ

このヘッダを使用して、追加のシステム管理用バスに接続できます。



(9). 予備 IEEE1394 ポート接続ヘッダ (IS-12)

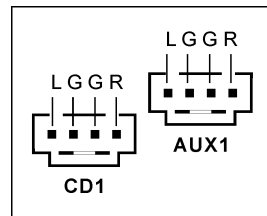
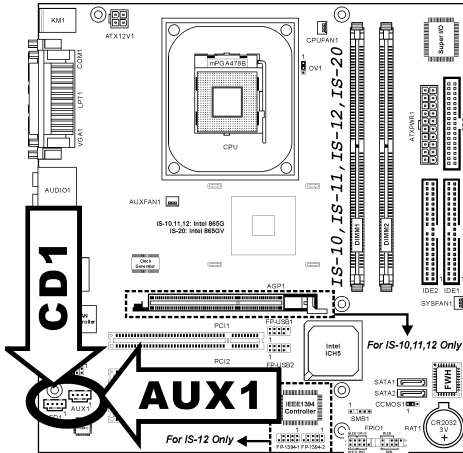
これらのヘッダを使用して、それぞれ 1 つの追加 IEEE1394 ポートに接続できます。



<div><div><div>246810</div><div><div><div></div><div></div><div></div><div></div></div></div><div>13579</div><div>FP-1394-1</div><div>FP-1394-2</div></div></div>	ピン番号	ピン割り当て	ピン番号	ピン割り当て
	1	TPA0 +	2	TPA0 -
	3	アース	4	アース
	5	TPB0 +	6	TPB0 -
	7	+12V	8	+12V
			10	アース

(10). 内部オーディオコネクタ

これらのコネクタを使用して、内部 CD-ROM ドライブまたはアドオン式オーディオカードに接続できます。

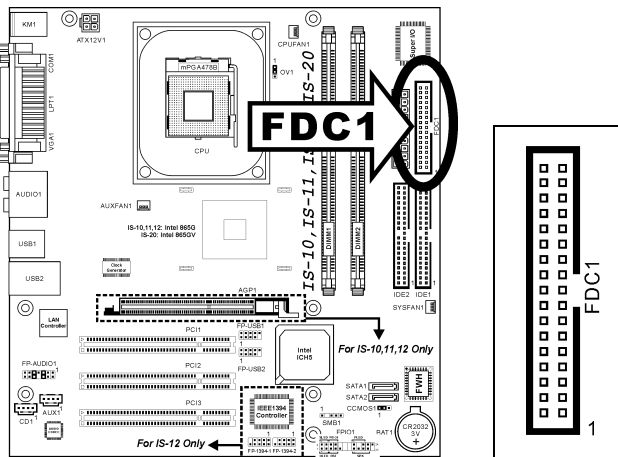


(11). フロッピーディスクドライブコネクタ

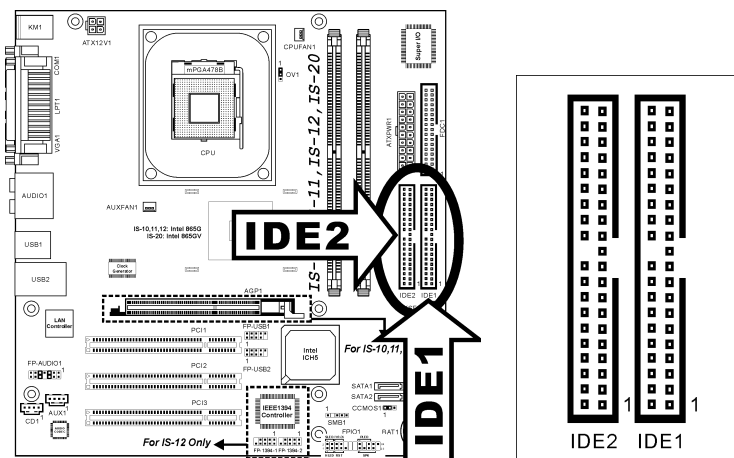
このコネクタは 34 ピン、34 コンダクタリボンケーブルを介して、2 つの標準フロッピーディスクドライブをサポートします。

フロッピーディスクドライブのケーブルに接続するには、次の手順を実行します。

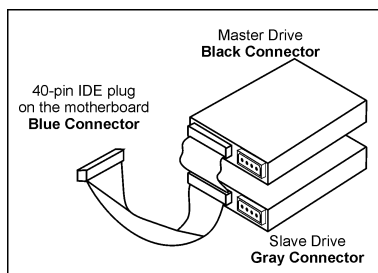
1. リボンケーブルの一方の端を FDC1 コネクタに取り付けます。リボンケーブルの着色された端を FDC1 コネクタのピン 1 に合わせます。
2. リボンケーブルのもう一方の端をディスクドライブのコネクタに接続します。リボンケーブルの着色された端もディスクドライブコネクタのピン 1 に合わせます。末端のコネクタを、ドライブ A として指定されたドライブに接続します。



(12). IDE コネクタ



このマザーボードは2つのIDEポートを提供して、Ultra ATA 66 リボンケーブルにより、Ultra ATA 100 モードで最大4基のIDEドライブに接続します。各ケーブルは40ピン80コンダクタと3つのコネクタを備え、マザーボードに2基のハードドライブを接続できるようになっています。長い方のリボンケーブルの1本の端を(青いコネクタ)をマザーボードのIDEポートに接続し、短い方のリボンケーブルのほかの2本の端(グレーおよび黒のコネクタ)をハードドライブのコネクタに接続します。

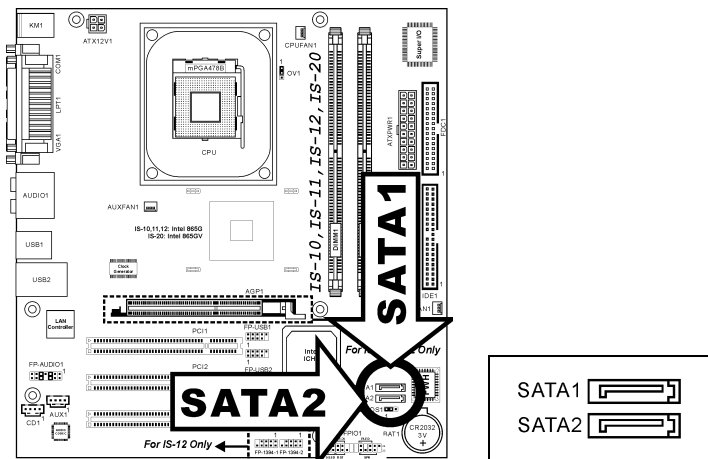


2台のハードドライブを1つのIDEチャンネルを通して一緒に接続するには、最初のドライブをマスタに構成してから2番目のドライブをスレーブモードに構成する必要があります。ジャンパ設定については、ドライブのマニュアルを参照してください。IDE1に接続された最初のドライブは通常「プライマリマスタ」と呼ばれ、2番目のドライブは「プライマリスレーブ」と呼ばれます。IDE2に接続された最初のドライブは「セカンダリマスタ」と呼ばれ、2番目のドライブは「セカンダリスレーブ」と呼ばれます。

CD-ROMのような従来の速度の遅いドライブを同じIDEチャンネルに接続すると、システム全体の性能が落ちることになるので、避けてください。

(13). シリアル ATA コネクタ

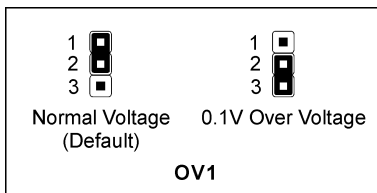
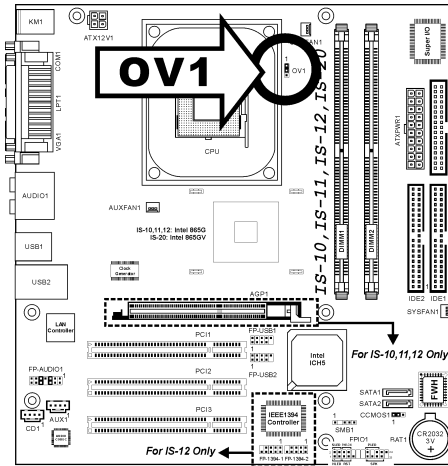
これらのコネクタを使用して、それぞれ1つのシリアル ATA チャンネルに接続できます。



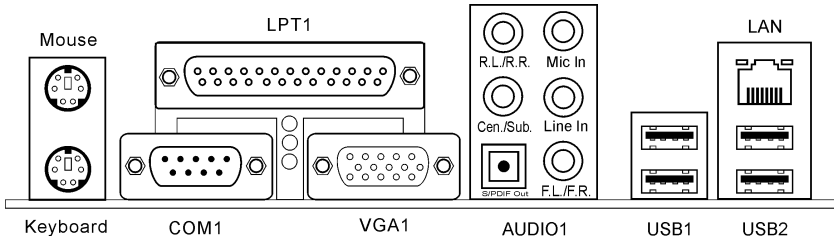
(14). CPU コア電圧セクタ

このヘッダはジャンパを使用して CPU コア電圧を調整します。

- ピン 1-2 ショート (デフォルト) : 標準操作。
- ピン 2-3 ショート : CPU コア電圧を 0.1V 上げます。



(15). 背面パネルの接続



- **マウス** : PS/2 マウスに接続します。
- **キーボード** : PS/2 キーボードに接続します。
- **LPT1** : この通信プロトコルをサポートするプリンタやその他のデバイスに接続します。
- **COM1** : この通信プロトコルをサポートする外部モデム、マウスまたはその他のデバイスに接続します。
- **VGA1** : モニタ入力に接続します。
- **AUDIO1** :
R.L./R.R. (背面左 / 背面右) : 5.1 チャンルのオーディオシステムの背面左および背面右チャンネルに接続します。
Cen./Sub. (センター / サブウーファ) : 5.1 チャンルのオーディオシステムのセンターおよびサブウーファチャンネルに接続します。
Mic In : 外部マイクからプラグに接続します。
Line In : 外部オーディオソースからラインアウトに接続します。
F.L./F.R. (前面左 / 前面右) : 5.1 チャンネルまたは通常の 2 チャンネルオーディオシステムの前面左と前面右チャンネルに接続します。
- **LAN** : 構内通信網 (LAN) に接続します。
- **USB1/USB2** : スキャナ、デジタルスピーカー、モニタ、マウス、キーボード、ハブ、デジタルカメラ、ジョイスティックなどの USB デバイスに接続します。

第3章 BIOS について

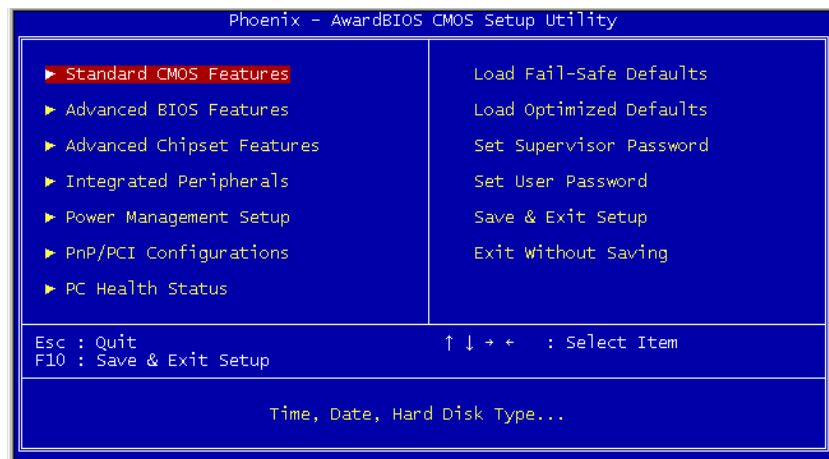
このマザーボードはプログラム可能な EEPROM を提供し、BIOS ユーティリティを更新することができます。BIOS (基本入出力システム)はプロセッサと周辺装置の間で通信の基本レベルを処理するプログラムです。マザーボードを取り付けたり、システムを再構成したり、“セットアップの実行”を指示するときだけに、BIOS セットアッププログラムを使用します。本章では、BIOS ユーティリティのセットアップユーティリティを説明します。

システムの電源をオンにすると、BIOS メッセージが画面に表示され、メモリがカウントを開始し、次のメッセージが画面に表示されます。

PRESS DEL TO ENTER SETUP

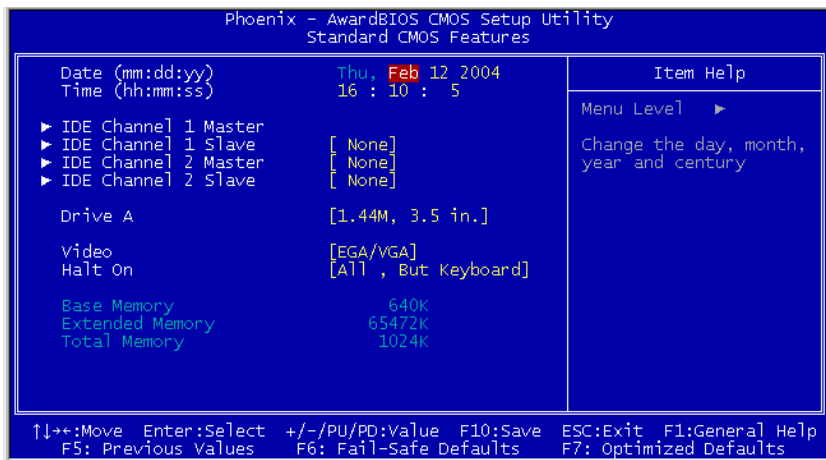
応答する前にメッセージが消えたら、<Ctrl> + <Alt> + キーを押すか、コンピュータシャーシのリセットボタンを押してシステムを再起動します。これらの2つの方法が失敗した場合のみ、電源をオフにした後またオンにしてシステムを再起動することができます。

キーを押した後、メインメニュー画面が表示されます。



注：システムの安定性と性能を高めるために、当社の技術陣が BIOS メニューを絶えず改良しています。BIOS セットアップ画面と本書で示した説明は参照のためのもので、画面に表示されるものと完全に一致しないこともあります。

3-1. Standard CMOS Features



Date (mm:dd:yy):

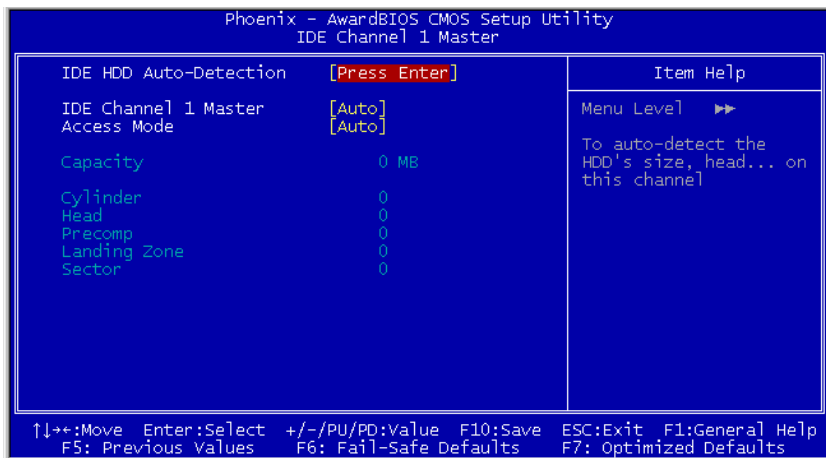
このアイテムは[月]、[日]、[年]の形式で指定する日付（通常、現在の日）を設定します。

Time (hh:mm:ss):

このアイテムは[時]、[分]、[秒]の形式で指定する日付（通常、現在の時間）を設定します。

☞ IDE Channel 1 Master/Slave、IDE Channel 2 Master/Slave:

<Enter>キーをクリックすると、サブメニューに入ります。



IDE HDD Auto-Detection:

このアイテムでは、<Enter> キーを押すことによって IDE ドライバのパラメータを検出できるようになっています。パラメータが画面上に自動的に表示されます。

IDE Channel 1 Master/Slave、IDE Channel 2 Master/Slave:

[Auto] (自動) に設定すると、BIOS はどの種類の IDE ドライブを使用しているかを自動的にチェックします。自分でドライブを定義したい場合、これを [Manual] (マニュアル) に設定し、パラメータの意味を完全に理解していることを確認してください。正しい設定を得るには、デバイスメーカーが提供する使用説明書を参照してください。

Access Mode:

このアイテムはお使いの IDE デバイスにアクセスするモードを選択します。このアイテムをデフォルトの [Auto] (自動) 設定のままにしておくと、HDD のアクセスモードを自動的に検出します。

Capacity:

このアイテムはディスクドライブのおおよその容量を表示します。一般に、サイズはディスクチェックプログラムに示されるフォーマット済みディスクのサイズよりいくらか大きくなっています。

Cylinder:

このアイテムはシリンダの数を構成します。

Head:

このアイテムは読込/書込ヘッドの数を構成します。

Precomp:

このアイテムは、書込タイミングを変更するシリンダの数を表示します。

Landing Zone:

このアイテムは、読取り/書込みヘッド用のランディングゾーンとして指定されるシリンダの番号を表示します。

Sector:

このアイテムは、トラック当りのセクタの数を構成します。

Drive A:

このアイテムは取り付けたフロッピードライブ（通常、ドライブ A のみ）のタイプを設定します。

Video:

このアイテムは、一次システム監視で使用するビデオアダプタのタイプを選択します。

[EGA/VGA]: (Enhanced Graphics Adapter/Video Graphics Array) EGA、VGA、SVGA、PGA モニタアダプタの場合。

[CGA 40]: (Color Graphics Adapter) 40 カラムモードで駆動。

[CGA 80]: (Color Graphics Adapter) 80 カラムモードで駆動。

[Mono]: (Monochrome adapter) 高解像度のモノクロームアダプタを組み込み。

Halt On:

このアイテムは、システムの起動中にエラーが検出された場合、システムを停止するかどうかを決定します。

[All Errors]: システムブートは、BIOS が致命的でないエラーを検出すると必ず停止します。

[No Errors]: システムブートは、エラーを検出すると停止します。

[All, But Keyboard]: システムブートは、キーボードエラー以外のすべてのエラーに対して停止します。

[All, But Diskette]: システムブートは、ディスクエラー以外のすべてのエラーに対して停止します。

[All, But Disk/Key]: システムブートは、ディスクまたはキーボードエラー以外のすべてのエラーに対して停止します。

Base Memory:

このアイテムは、システムにインストールされた基本メモリの量を表示します。基本メモリの値は 640K を搭載したシステムの場合一般的には 640K ですが、マザーボードにさらに多くのメモリサイズをインストールすることもできます。

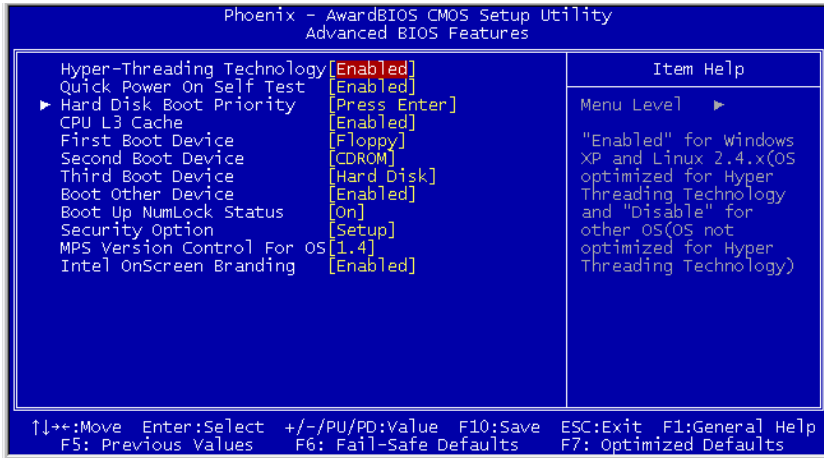
Extended Memory:

このアイテムは、システムの起動中に検出された拡張メモリの量を表示します。

Total Memory:

このアイテムは、システムで利用できる総メモリを表示します。

3-2. Advanced BIOS Features



Hyper-Threading Technology:

このアイテムは、ハイパースレッド・テクノロジーを搭載したプロセッサの機能を可能にし、このタイプのプロセッサを使用している場合にのみ表示されます。

ハイパースレッド・テクノロジーは、プロセッサのリソースを最大化することでパソコンの性能を向上し、1つのプロセッサで2つの独立したソフトウェアスレッドを同時に稼働させることを可能にします。このため、複数アプリケーションを実行中に従来の4倍のシステム性能と反応を実現させることができます。

Quick Power On Self Test:

[Enabled] (使用可能) に設定していると、このアイテムはシステムの電源をオンにした後電源オンセルフテスト(POST)の速度を上げます。BIOSはPOSTの間いくつかのチェックを短縮したりスキップします。

Hard Disk Boot Priority:

このアイテムは、ハードディスクのブート優先順位を選択します。<Enter>キーを押すことによって、そのサブメニューに入り、ここで検出されたハードディスクをシステム起動のためのブートシーケンス用に選択することができます。

このアイテムは、1 次/2 次/3 次ブートデバイスアイテムのどれかに[ハードディスク]のオプションがあるときのみ機能します。

CPU L3 Cache:

これは L3 キャッシュ (初期設定) を有効にするために使用するもので、L3 キャッシュを持つ特定の CPU (Intel Pentium 4 プロセッサと HT Technology Extreme Edition の組み合わせ) のみに使用できます。

First Boot Device / Second Boot Device / Third Boot Device / Boot Other Device:

[First Boot Device] (第 1 ブートデバイス)、[Second Boot Device] (第 2 ブートデバイス)、[Third Boot Device] (第 3 ブートデバイス) アイテムでそれぞれ起動する第 1、第 2、第 3 ドライブを選択します。BIOS は選択したドライブのシーケンスに従ってオペレーティングシステムを起動します。以上の 3 つのアイテム以外のデバイスから起動したい場合は、[他のデバイスを起動]を[Enabled] (使用可能) に設定してください。

Boot Up NumLock Status:

このアイテムは、システムが起動するときに数値キーボードのデフォルトの状態を決定します。

[On] : 数字キーとしての数値キーパッド機能。

[Off] : 矢印キーとしての数値キーパッド機能。

Security Option:

このアイテムは、システムがパスワードを要求するとき - システムが起動するたびに、または BIOS セットアップに入るときのみかを決定します。

[Setup]: パスワードは BIOS セットアップにアクセスするときのみ要求されます。

[System]: パスワードはコンピュータが起動するたびに要求されます。

注：パスワードは忘れないでください。パスワードを忘れた場合、コンピュータのケースを開けて、CMOS のすべての情報をクリアにしてからシステムを起動してください。この場合、以前に設定したすべてのオプションはリセットされます。

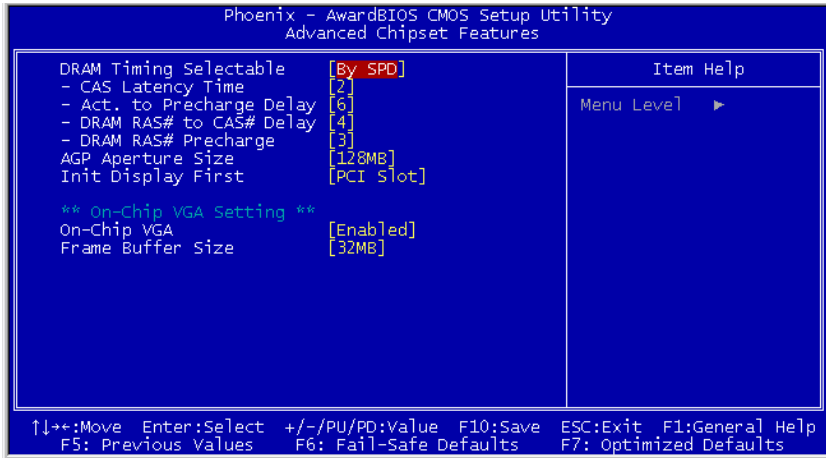
MPS Version Control For OS:

この項目は、このマザーボードが使用する MPS（多重プロセッサ仕様）のバージョンを指定します。このアイテムは、そのデフォルトの設定のままにしておいて下さい。

Intel OnScreen Branding:

この項目は、システム起動時に「Intel Inside」ロゴの表示または非表示を決定します。

3-3. Advanced Chipset Features



DRAM Timing Selectable:

この項目は、次の4つの項目に対し、使用しているメモリモジュールに従って、最適のタイミングを設定します。デフォルトの設定「SPDによる」は、SPD（シリアルプレゼンスの検出）デバイスのコンテンツを読み取ることによって、これら4つの項目を構成します。メモリモジュール上のEEPROMは、メモリの種類、サイズ、速度、電圧インターフェイス、およびモジュールバンクなどの、モジュールに関するクリティカルパラメータ情報を格納します。

※ **CAS Latency Time:**

この項目は、DRAM 読み取りコマンドとデータが実際に使用できる時間との間の待ち時間を制御します。

※ **Act to Precharge Delay:**

このアイテムは、DRAM パラメータで使用する DRAM クロックの番号を制御します。

※ **DRAM RAS# to CAS# Delay**

この項目は、DRAM アクティブコマンドと読み取り/書き込みコマンドの間の待ち時間を制御します。

※ **DRAM RAS# Precharge:**

プリチャージコマンドを DRAM に発行すると、この項目はアイドルクロックをコントロールします。

AGP Aperture Size:

このアイテムは AGP デバイスに割り当てるシステムメモリ量を決定します。範囲はグラフィックメモリアドレス容量のために確保された PCI メモリアドレス領域です。

Init Display First:

このアイテムは、システムが起動するとき Onboard/AGP または PCI スロットをまず初期化するために選択します。

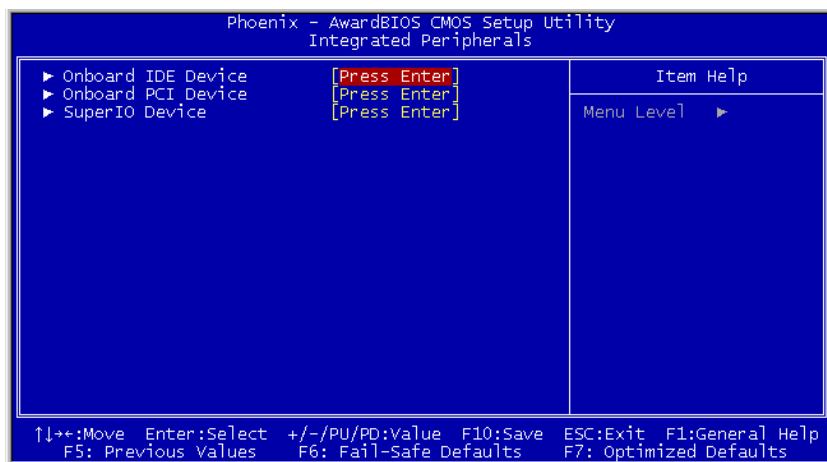
On-Chip VGA

このオプションは、オンチップ VGA コントローラの有効/無効を切り替えます。

Frame Buffer Size

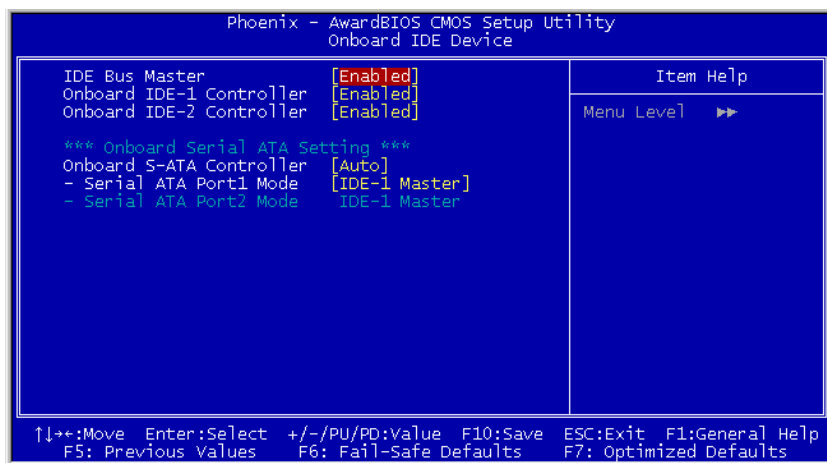
このオプションは、オンチップフレームバッファのサイズを選択します。

3-4. Integrated Peripherals



☞ Onboard IDE Device:

<Enter>キーをクリックすると、サブメニューに入ります。



IDE Bus Master:

このオプションは、DOS 環境の下で IDE バスマスタリング機能の有効/無効を切り替えます。

Onboard IDE-1 Controller:

このアイテムにより、一次および二次 IDE コントローラの使用可能/不可能を切り替えることができます。異なるハードドライブコントローラを追加するには、[Disabled] (使用不可能) を選択してください。

Onboard IDE-2 Controller:

Onboard IDE-1 Controller の説明を参照してください。

Onboard S-ATA Controller

この項目は、オンチップシリアル ATA の機能を決定します。

[Disabled (無効)]: シリアル ATA コントローラを無効にします。

[Auto (自動)]: シリアル ATA コントローラを BIOS によって自動的に配列できます。

[Combined Mode (結合モード)]: パラレル ATA とシリアル ATA がともに結合されます。最高 4 つの

IDE ドライブをサポートします。

[Enhanced Mode (拡張モード)]: パラレル ATA とシリアル ATA をともに有効にします。最高 6 つの IDE ドライブをサポートします。

[SATA Only (SATA のみ)]: SATA はレガシーモードで動作します。

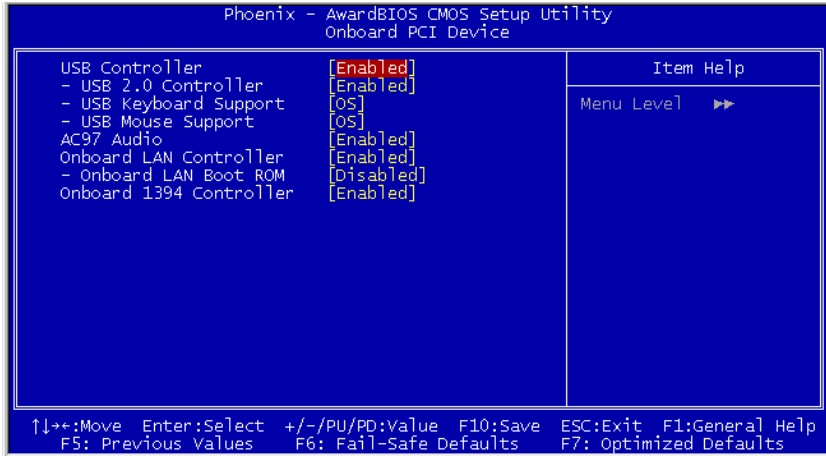
※ **Serial ATA 1 Mode / Serial ATA 2 Mode:**

このアイテムはシリアル ATA ポート 1（つまり、このモデルの SATA1 コネクタ）とシリアル ATA ポート 2（つまり、このモードの SATA2 コネクタ）の機能モードを決定します。SATA1 と SATA2 はどちらも、次に上げるモードとして選択された後、1 つのシングル IDE コネクタとしてそれぞれ機能します。

モード	シリアル ATA ポート 1 (SATA1)	シリアル ATA ポート 2 (SATA2)	説明
拡張	IDE-3 マスタ	IDE-4 マスタ	<ul style="list-style-type: none"> • SATA1 は IDE-3 マスタとして機能 • SATA2 は IDE-4 マスタとして機能 • OnChip IDE-1 と IDE-2 コントローラの有効
	IDE-4 マスタ	IDE-3 マスタ	<ul style="list-style-type: none"> • SATA1 は IDE-4 マスタとして機能 • SATA2 は IDE-3 マスタとして機能 • OnChip IDE-1 と IDE-2 コントローラの有効
結合	IDE-1 マスタ	IDE-1 スレーブ	<ul style="list-style-type: none"> • SATA1 は IDE-1 マスタとして機能 • SATA2 は IDE-1 スレーブとして機能 • OnChip IDE-1 コントローラの無効
	IDE-1 スレーブ	IDE-1 マスタ	<ul style="list-style-type: none"> • SATA1 は IDE-1 スレーブとして機能 • SATA2 は IDE-1 マスタとして機能 • OnChip IDE-1 コントローラの無効
	IDE-2 マスタ	IDE-2 スレーブ	<ul style="list-style-type: none"> • SATA1 は IDE-2 マスタとして機能 • SATA2 は IDE-2 スレーブとして機能 • OnChip IDE-2 コントローラの無効
	IDE-2 スレーブ	IDE-2 マスタ	<ul style="list-style-type: none"> • SATA1 は IDE-2 スレーブとして機能 • SATA2 は IDE-2 マスタとして機能 • OnChip IDE-2 コントローラの無効
SATA のみ	論理的 IDE-1	論理的 IDE-2	<ul style="list-style-type: none"> • SATA1 は IDE-1 マスタとして機能 • SATA2 は IDE-2 マスタとして機能 • OnChip IDE-1 と IDE-2 コントローラの無効
	論理的 IDE-2	論理的 IDE-1	<ul style="list-style-type: none"> • SATA1 は IDE-2 マスタとして機能 • SATA2 は IDE-1 マスタとして機能 • OnChip IDE-1 と IDE-2 コントローラの無効

☞ Onboard PCI Device:

<Enter>キーをクリックすると、サブメニューに入ります。



USB Controller:

このアイテムはオンボード USB コントローラを使用できるようにします。

※ USB 2.0 Controller:

このアイテムはオンボード USB 2.0 コントローラを使用できるようにします。

※ USB Keyboard Support:

このアイテムにより、DOS 環境で USB キーボードを使用するための[BIOS]を、または、または OS 環境では[OS]を選択することができます。

※ USB Mouse Support:

このアイテムにより、DOS 環境で USB マウスを使用するための[BIOS]を、または、または OS 環境では[OS]を選択することができます。

AC97 Audio

[Enabled]に設定すると、オンボードオーディオコーデックが検出されサポートされます。オンボードにあるものとは異なるオーディオアダプタを使用したい場合、このアイテムを[Disabled]に設定してください。

Onboard LAN Controller:

このアイテムはオンボード LAN コントローラを使用できるようにします。

※ Onboard LAN Boot ROM

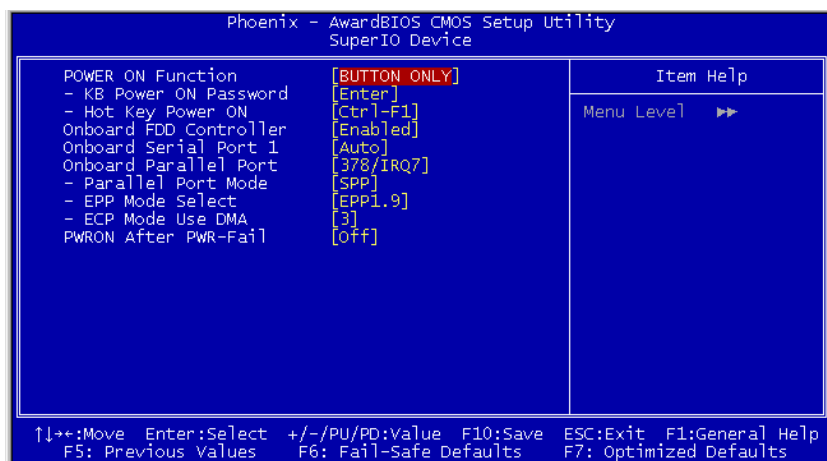
このアイテムにより、（ディスクドライブの代わりに）ブート ROM を使用して、システムを起動し、構内通信網に直接アクセスできます。

Onboard 1394 Controller

このアイテムはオンボード IEEE 1394 コントローラを使用できるようにします。

SuperIO Device:

<Enter>キーをクリックすると、サブメニューに入ります。



POWER ON Function:

このアイテムは、システムの電源をオンにする方法を選択します。

[Password]: パスワードを使用してシステムの電源をオンにします。このオプションを選択してから、<Enter>を押してください。パスワードを入力してください。最大 5 文字まで入力できます。正確に同じパスワードを入力して確認したら、<Enter>を押します。

[Hot KEY]: <F1> から <F12>までのどれかの機能を使用して、システムの電源をオンにします。

[Mouse Left]: マウスの左ボタンをダブルクリックして、システムの電源をオンにします。

[Mouse Right]: マウスの右ボタンをダブルクリックして、システムの電源をオンにします。

[Any KEY]: キーボードの任意のキーを使用して、システムの電源をオンにします。

[Button Only]: 電源ボタンのみを使用して、システムの電源をオンにします。

[Keyboard 98]: “Keyboard 98”互換キーボードの電源オンボタンを使用して、システムの電源をオンにします。

注：マウスの呼び起こし機能は、COM ポートや USB タイプではなく、PS/2 マウスでのみ使用可能です。一部の PS/2 マウスの中には、互換上の問題が理由で呼び起こしができないものもあります。キーボードの仕様があまりにも古いと、電源をオンにできないことがあります。

※ **KB Power ON Password:**

このアイテムは、コンピュータの電源をオンにするために必要なパスワードを設定します。

注：パスワードを忘れないでください。忘れると、この機能を再び利用するには、CMOS を消去して全てのパラメータをリセットしなければなりません。

※ **Hot Key Power ON:**

このアイテムは、<Ctrl>キーと機能キー(<F1> ~ <F12>)のどれかを同時に押すことによって、システムの電源をオンにします。

Onboard FDD Controller:

このアイテムはオンボード FDC コントローラを使用できるようにします。

Onboard Serial Port 1:

このアイテムは、どの I/O アドレスにオンボードのシリアルポートコントローラがアクセスするかを決定します。

[Auto]：システムは、オンボードシリアルポートの I/O アドレスを自動的に選択します。

[3F8/IRQ4, 2F8/IRQ3, 3E8/IRQ4, 2E8/IRQ3] : オンボードシリアルポートの I/O アドレスを手動で選択できるようにします。

[Disabled] : オンボードシリアルポートを個別にまたは同時に使用不可能に設定します。

Onboard Parallel Port:

このアイテムは、パラレルポートが使用する I/O アドレスを指定します。

[Disabled] : このオプションは、パラレルポートがシステムリソースに一切アクセスできないようにします。このオプションの値が **使用不可能** に設定されていると、プリンタポートは使用できません。

[378/IRQ7] : このオプションは、パラレルポートがその I/O ポートアドレスとして [378/IRQ7] を使用できるようにします。コンピュータシステムの大多数のパラレルポートは、標準設定として IRQ7 と I/O ポート 378H を使用します。

[278/IRQ5] : このオプションは、パラレルポートがその I/O ポートアドレスとして [278/IRQ5] を使用できるようにします。

[3BC/IRQ7] : このオプションは、パラレルポートがその I/O ポートアドレスとして [3BC/IRQ7] を使用できるようにします。

※ Parallel Port Mode:

このアイテムは、パラレルポートのモードを指定します。

[Normal] : 標準のパラレルポートモードを使用できるようにします。

[SPP] : 標準速度での双方向のパラレルポート操作を可能にします。

[EPP] : 最高速度での双方向のパラレルポート操作を可能にします。

[ECP] : 標準モードのデータ転送速度より高速で双方向のパラレルポート操作を可能にします

[ECP+EPP]: ECP と EPP モードでパラレルポート動作を可能にします。

※ EPP Mode Select:

このアイテムは EPP モードを選択します。

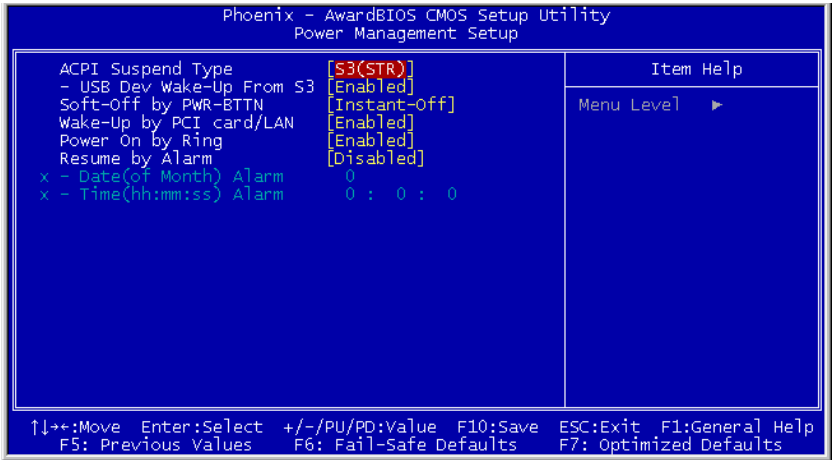
※ ECP Mode Use DMA:

このアイテムは、パラレルポートの DMA チャンネルを選択します。

PWRON After PWR-Fail

このアイテムは、AC 電源に障害が発生した後のシステム動作を選択します。

3-5. Power Management Setup



ACPI Suspend Type:

このアイテムは、サスペンドモードのタイプを選択します。

[S1(POS)] : 電源オンサスペンド機能を使用可能にします。

[S3(STR)] : サスペンド対 RAM 機能を使用可能にします。

※ **USB Dev Wake-Up From S3**

[Enabled] (使用可能) に設定していると、このアイテムにより USB デバイスを使用して S3 (STR – RAM にサスペンド)状態にあるシステムを呼び起こすことができます。このアイテムは、アイテム“ACPI サスペンドタイプ”が[S3(STR)]に設定されているときのみ構成できます。

Soft-Off by PWR-BTTN

このアイテムは、システムの電源をオフにする方法を選択します。

[Delay 4 Sec.]: 電源ボタンを 4 秒以上長く押し続けていると、システムの電源がオフになります。これにより、電源ボタンにうっかり触れたり押したりした場合にシステムの電源がオフになることを防ぐことができます。

[Instant-Off]: 電源ボタンを一度押してから離すと、直ちにシステムの電源がオフになります。

Wake-Up by PCI card/LAN

[Enabled] (使用可能) に設定しているとき、モデムや LAN カードなどのオンボード LAN や PCI カードにアクセスすると、システムを呼び起こす原因となります。PCI カードは呼び起こし機能をサポートする必要があります。

Power On by Ring

次の 2 つのアイテム、Disabled (使用しない) または Enabled (使用する) が設定できます。デフォルトは *Disabled (使用しない)* です。Enabled (使用しない) に設定するとき、モデムリングに影響を及ぼすイベントはパワーダウンしたシステムを呼び起こします。

Resume by Alarm

[Enabled] (使用可能) に設定すると、“日 (月の) アラーム”および“時 (hh:mm:ss) アラーム”アイテムでソフトオフ PC の電源をオンにしたい日と時間を設定できます。ただし、システムがこれらのアイテムで設定された日と時間より前に入電またはネットワーク(レジュームオンリング/LAN)によりアクセスされると、システムは入電やネットワークに優先順位を与えます。

※ Date (of Month) Alarm

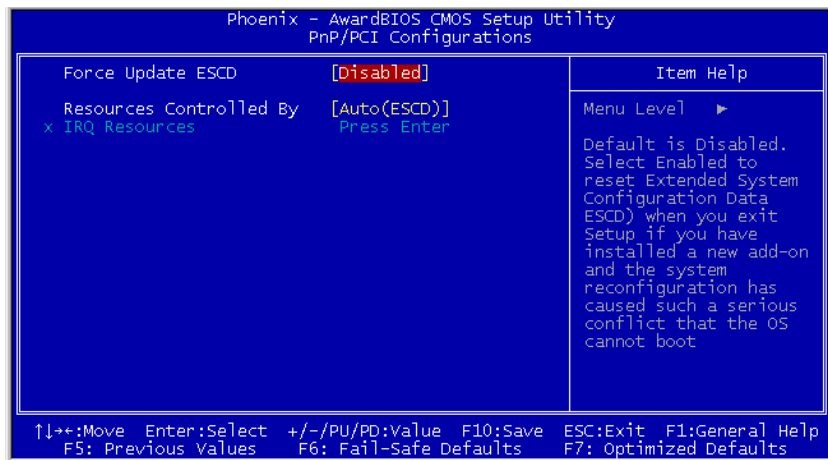
[0]: このオプションは、“時 (hh:mm:ss) アラーム”アイテムで設定された時間に従って毎日システムの電源をオンにします。

[1-31]: このオプションは、システムの電源をオンにする日を選択します。システムは設定された日、および“時 (hh:mm:ss) アラーム”アイテムで設定された時間に電源がオンになります。

※ Time (hh:mm:ss) Alarm

このアイテムは、システムの電源をオンにする時間を設定します。

3-6. PnP/PCI Configurations



Force Update ESCD:

次回ブートアップしたときに ESCD のデータを消去して、BIOS に PnP ISA カードと PCI カードの設定をリセットしたい場合は、Enabled を選択してください。ただし次回ブートアップするときには、このオプションは再び自動的に Disabled に戻されます。

注意 : ESCD (Extended System Configuration Data) にはシステムの IRQ、DMA、I/O ポート、メモリ情報が記録されます。これは Plug & Play BIOS の仕様であり機能です。

Resources Controlled By:

このアイテムは、全ての起動およびプラグアンドプレイ互換デバイスを構成します。

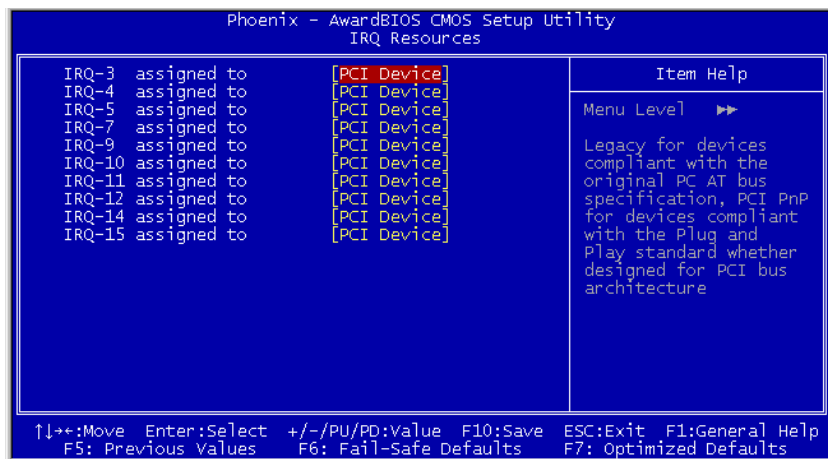
[Auto(ESCD)]: システムは設定を自動的に検出します。

[Manual]: “IRQ リソース”メニューで、特定の IRQ リソースを選択してください。

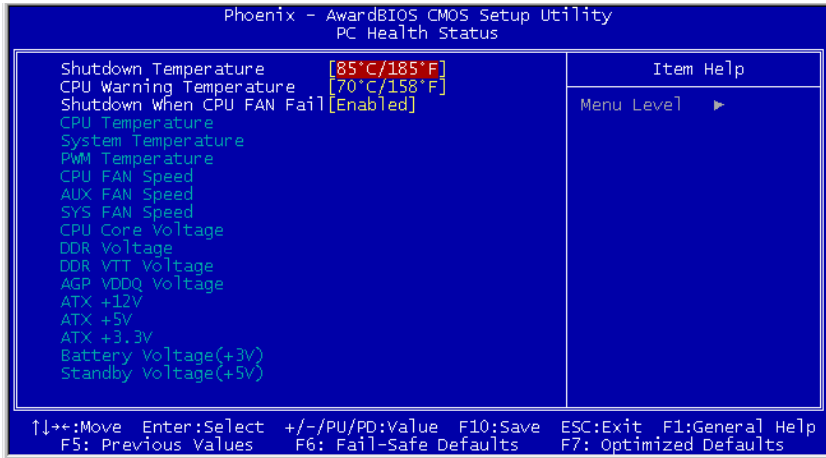
※ IRQ Resources:

<Enter>キーをクリックすると、サブメニューに入ります。

このアイテムは、各システム割り込みを[PCI デバイス] または [予約済み]に設定します。



3-7. PC Health Status



Shutdown Temperature:

このアイテムは、システムが過熱しないようにシステムを自動的に停止する温度を設定します。

CPU Warning Temperature:

このアイテムは、CPU の警告温度の限界を選択します。システムが CPU の温度が限界を超えていることを検出すると、警告音が鳴ります。

注： オンボードハードウェア監視機能は、これらのシステムヘルス状態を検出できます。異常な状態が発生したとき、警告メッセージを表示したり警告アラームを鳴らしたい場合、“ハードウェアドクター”ユーティリティをインストールする必要があります。このユーティリティは本マザーボードに付属する“ドライバとユーティリティ CD”に含まれています。

Shutdown When CPU FAN Fail:

[Enabled] (使用可能) に設定していると、システムは CPU ファンが作動していないときに停止します。

All Voltages, Fans Speed and Thermal Monitoring:

CPU と環境の温度、ファンの回転速度、システムの電源の電圧を表示します。これらの値は変更できません。

注： 温度、ファンの回転速度、電圧を測定するためのハードウェア監視機能を有効にする場合は、294H から 297H までの I/O アドレスを使用します。ネットワークアダプタ、サウンドカード、またはこれらの I/O アドレスを使用する可能性のあるアドオンカードが装着されている場合は、競合を避けるためにアドオンカードの I/O アドレスを調整してください。

3-8. Load Fail-Safe Defaults

このオプションはデフォルトの BIOS 値をロードして、最も安定した、最適のシステムパフォーマンスを実現します。

3-9. Load Optimized Defaults

このオプションは、出荷時のデフォルトの BIOS 設定をロードして、最適のシステムパフォーマンスを実現します。

3-10. Set Supervisor Password

このオプションは BIOS 設定を保護したり、コンピュータ本体へのアクセスを制限します。管理者パスワードは保存された CMOS オプションが権限のないユーザーにより変更されないように、保護するために使用されます。

3-11. Set User Password

このオプションは BIOS 設定を保護したり、コンピュータ本体へのアクセスを制限します。ユーザーパスワードは、システムを使用するまたは BIOS 設定に入る（しかし、その内容は変更できない）すべてのユーザーにパスワードを入力するように要求します。

3-12. Save & Exit Setup

このオプションは選択を保存して BIOS セットアップメニューを終了します。

3-13. Exit Without Saving

このオプションは、変更を保存せずに BIOS セットアップメニューを終了します。

第4章 ドライバのインストール

必要なドライバはすべて、ボードのパッケージに付属するドライバとユーティリティ CD に含まれています。次の図で示す画面は、この CD を CD-ROM ドライブに挿入すると表示されます。表示されない場合、→ [マイコンピュータ] → [CD-ROM] ドライブに移動し → [autorun.exe] をダブルクリックします。オンスクリーンの指示に従ってください。



4-1. アイテムの設定

- **Intel チップセットソフトウェアユーティリティ**
Windows オペレーティングシステムに対して、Intel チップセットドライバをインストールします。
- **Intel Extreme グラフィックスドライバ**
Windows オペレーティングシステムに対して、Intel グラフィックスアダプタドライバをインストールします。
- **オーディオドライバ**
Windows オペレーティングシステムに対して、オーディオドライバをインストールします。
- **LAN ドライバ**
Windows オペレーティングシステムに対して、LAN ドライバをインストールします。
- **USB 2.0 ドライバ**
Windows オペレーティングシステムに対して、USB 2.0 ドライバをインストールします。
- **マニュアル**
PDF ファイルでユーザーズマニュアルを表示します。
- **ユーティリティ**
クリックすると、DirectX、Acrobat Reader、Award Flash ユーティリティソフトウェアをインストールするためのサブ画面に入ります。
- **CD の閲覧**
この CD-ROM の内容を閲覧します。
- **閉じる**
CD 設定アイテムメニューを終了します。

付録 A. テクニカルサポートの受け方について

(ホームページ) <http://www.abit.com.tw>

(米国) <http://www.abit-usa.com>

(ヨーロッパ) <http://www.abit.nl>

ABIT 社の製品をお買い上げいただきありがとうございます。ABIT はディストリビュータ、リセラー、システムインテグレータを通じて製品を販売させていただいておりますため、エンドユーザの皆様には直接製品を販売することはありません。弊社テクニカルサポート部へお問い合わせいただく前に、お客様のシステムを構築したリセラーかシステムインテグレータにお問い合わせいただく方が、より適切なアドバイスを受けることができます。

ABIT ではお客様に常に最高のサービスを提供したいと願っております。弊社はお客様への迅速な対応を最優先に考えておりますが、毎日世界各国からの電話や電子メールによる問い合わせが殺到しておりますため、すべてのご質問にお答えすることができない状況です。したがって、電子メールでお問い合わせいただきましてもご返答できない場合がありますので、あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。

ABIT は最高の品質と互換性の高い製品を提供するために、互換性や信頼性に関するテストを重ねております。万が一サービスやテクニカルサポートが必要となりました場合には、**まずリセラーかシステムインテグレータにお問い合わせください。**

できるだけ早く問題を解決するために、以下に説明します処理を行ってみてください。それでも問題を解決できない場合には、弊社のテクニカルサポートへお問い合わせください。より多くのお客様に、より質の高いサービスを提供するために、皆様のご協力をお願いします。

1. **マニュアルをお読みください。** マニュアルの作成には万全の注を払いつい、どなたにもお分かりいただけるように説明してあります。意外と簡単なことを見落としている場合もありますので、再度マニュアルをよくお読みください。マニュアルにはマザーボード以外についても重要な情報が記載されています。マザーボードに同梱されている CD-ROM には、ドライバのほかにはマニュアルの電子ファイルも格納されています。必要であれば、弊社の Web サイトまたは FTP サーバより、ファイルをダウンロードすることもできます。

2. **最新の BIOS、ソフトウェア、ドライバをダウンロードしてください。** 弊社の Web サイトをご覧になり、バグや互換性に関わる問題が修正された最新バージョンの BIOS をダウンロードしてください。また周辺機器のメーカーにお問い合わせになり、最新バージョンのドライバをインストールしてください。
3. **Web サイト上の専門用語集および FAQ（よく聞かれる質問）をお読みください。** 弊社では今後も引き続き FAQ を充実させていく予定です。皆様のご意見をお待ちいたしております。また新しいトピックにつきましては、HOT FAQ をご覧ください。
4. **インターネットニュースグループをご利用ください。** ここには貴重な情報が数多く寄せられます。ABIT Internet News グループ (alt.comp.periphs.mainboard.abit) はユーザどうしで情報を交換したり、それぞれの経験を語り合ったりするために設置されたフォーラムです。たいていの場合、知りたい情報はこのニュースグループ上にすでに記載されています。これは一般に公開されているインターネットニュースグループであり、無料で参加することができます。ほかにも次のようなニュースグループがあります。

alt.comp.periphs.mainboard.abit

alt.comp.periphs.mainboard

comp.sys.ibm.pc.hardware.chips

alt.comp.hardware.overclocking

alt.comp.hardware.homebuilt

alt.comp.hardware.pc-homebuilt

5. **リセラーへお問い合わせください。** 技術的な問題につきましては、ABIT が認定したディストリビュータにお尋ねください。弊社の製品はディストリビュータからリセラーや小売店へ配送されます。リセラーはおお客様のシステムの構成内容をよく理解していますので、お客様が抱える問題をより効率よく解決できるはずです。お客様が受けられるサービス内容によって、お客様が今後もそのリセラーと取り引きを続けていきたいかどうかを判断する材料にもなります。万一問題を解決できない場合は、状況に応じて何らかの対応策が用意されているはずです。詳しくはリセラーにお尋ねください。

北米および南米：

ABIT Computer (U.S.A.) Corporation

45531 Northport Loop West, Fremont, California 94538, U.S.A.

電話番号：1-510-623-0500

ファックス番号：1-510-623-1092

sales@abit-usa.com

technical@abit-usa.com

<http://www.abit-usa.com>

英国およびアイルランド：

ABIT Computer (U.K.) Corporation Ltd.

Unit 3, 24-26 Boulton Road, Stevenage, Herts SG1 4QX, U.K.

電話番号：44-1438-228888

ファックス番号：44-1438-226333

sales@abitcomputer.co.uk

technical@abitcomputer.co.uk

ドイツ、ベネルクス諸国（ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ）、デンマーク、ノルウェー、スウェーデン、フィンランド、スイス：

AMOR Computer B.V. (ABIT のヨーロッパ事務所)

Van Coehoornstraat 7, 5916 PH Venlo, The Netherlands

電話番号：31-77-3204428

ファックス番号：31-77-3204420

sales@abit.nl

technical@abit.nl

<http://www.abit.nl>

オーストリア、チェコ、ルーマニア、ブルガリア、ユーゴスラビア、スロバキア、スロベニア、クロアチア、ボスニア、セルビア、および マスドニア：

Asguard Computer Ges.m.b.H

Schmalbachstrasse 5, A-2201 Gerasdorf/Wien, Austria

電話番号：43-1-7346709

ファックス番号：43-1-7346713

asguard@asguard.at

日本：**ABIT Computer (Japan) Co. Ltd.**

ファックス番号：81-3-5396-5110

<http://www.abit4u.jp>**上海：****ABIT Computer (Shanghai) Co. Ltd.**

電話番号：86-21-6235-1829

ファックス番号：86-21-6235-1832

<http://www.abit.com.cn>**ロシア：****ABIT Computer (Russia) Co. Ltd.**

ファックス番号：7-095-937-2837

techrussia@abit.com.tw<http://www.abit.ru>**フランス、イタリア、スペイン、ポルトガル、およびギリシャ：****ABIT Computer France SARL**

電話番号：33-1-5858-0043

ファックス番号：33-1-5858-0047

<http://www.abit.fr>

その他のすべてのテリトリは上ではカバーされていません。以下にお問合せください：台湾本部：

当社の本部に連絡するときは、当社の所在地が台湾にあり、8+ GMT 時間を採用していることにご注意ください。さらに、お客様の国とは異なる休日も採用しています。

ABIT Computer Corporation

No.323, Yang Guang St., Neihu, Taipei, 114, Taiwan

電話番号：886-2-8751-8888

ファックス番号：886-2-8751-3382

sales@abit.com.twmarket@abit.com.twtechnical@abit.com.tw<http://www.abit.com.tw>

6. **ABIT へお問い合わせください。**ABIT へ直接お尋ねになりたいことがございましたら、テクニカルサポート部へ電子メールをお送りください。まず、お近くの ABIT 支店のサポートチームにお問い合わせください。地域の状況や問題、またリセラーがどのような製品とサービスを提供しているかは、地域により全く異なります。ABIT 本社には毎日世界各国から膨大な量の問い合わせが殺到しておりますため、すべてのお客様のご質問にお答えすることができない状況です。弊社ではディストリビュータを通じて製品を販売いたしておりますため、すべてのエンドユーザの皆様にサービスを提供することができません。何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。また、弊社のテクニカルサポート部に質問をお寄せになる際は、問題点を英語でできるだけ分かりやすく、簡潔に記載していただき、必ずシステム構成部品のリストしてください。お問い合わせ先は次の通りです。
7. **RMA サービスについて。**新しくソフトウェアやハードウェアを追加していないのに、今まで動いていたシステムが突然動かなくなった場合は、コンポーネントの故障が考えられます。このような場合は、製品を購入されたリセラーにお問い合わせください。RMA サービスを受けることができます。
8. **互換性に関する問題がある場合は ABIT へご一報ください。**弊社に寄せられるさまざまな質問の中でも ABIT が特に重視しているタイプの質問があります。互換性に関する問題もその 1 つです。互換性がないために問題が発生していると思われる場合は、システムの構成内容、エラーの状態をできるだけ詳しくお書きください。その他のご質問につきましては、申し訳ございませんが直接お答えできない場合があります。お客様が知りたい情報は、インターネットニュースグループにポストされていることがありますので、定期的にニュースグループをお読みください。

ありがとうございました。

ABIT Computer Corporation

<http://www.abit.com.tw>



テクニカルサポート用紙



会社名：



電話番号：



連絡先：



ファックス番号：



E-mail：

モデル名		*	BIOS ID #	*
マザーボードの モデル番号			ドライババージョン	
OS／アプリケーション		*		
ハードウェア名		メーカー名	仕様	
CPU		*		
HDD	<input type="checkbox"/> IDE1			
	<input type="checkbox"/> IDE2			
CD-ROM ドライブ	<input type="checkbox"/> IDE1			
	<input type="checkbox"/> IDE2			
システムメモリ (DRAM)				
その他のカード				

問題の説明：

